



豊島健康診査センター

8月 1日発行



平素より医療法人財団豊島健康診査センターをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

平成28年8月から10月までの、内視鏡および超音波検査日程をお知らせいたします。

内視鏡検査(火曜日・金曜日)

日程	方法	担当医師	日程	方法	担当医師	日程	方法	担当医師
8月 2日	経鼻	宮本	9月 6日	経鼻	宮本	10月 4日	経鼻	宮本
8月 5日	経口	飯塚	9月 9日	経口	飯塚	10月 11日	経鼻	宮本
8月 9日	経鼻	宮本	9月 13日	経鼻	宮本	10月 18日	経鼻	宮本
8月 19日	経口	飯塚	9月 20日	経鼻	宮本	10月 21日	経口	飯塚
8月 23日	経鼻	宮本	9月 27日	経鼻	宮本	10月 25日	経鼻	宮本
8月 30日	経鼻	宮本	9月 30日	経口	飯塚	10月 28日	経口	飯塚

※ご希望により火曜日も経口を実施いたします。

心臓超音波検査(金曜日)

日程	担当医師	日程	担当医師	日程	担当医師
8月 5日	新井	9月 2日	新井	10月 7日	新井
8月 19日	新井	9月 9日	新井	10月 14日	新井
		9月 30日	新井	10月 21日	新井

超音波検査(火曜日・金曜日)

腹部・甲状腺・乳腺

※腹部超音波検査は、午前中のみとなります。

予約受付電話番号

月曜日～金曜日

土曜日

03-5974-7206

8:00 ~ 19:00

8:00 ~ 16:30

検体回収・結果問い合わせ電話番号

月曜日～金曜日

土曜日

03-5974-7203

8:30 ~ 19:00

8:30 ~ 16:30



* 5月9日(月)より月曜日～金曜日の検体集荷受付及び電話予約受付最終時間が「19時30分まで」から「19時まで」に変更になりました。

夕刻便に回収した至急検体の報告につきましては、翌日報告とさせていただきます。

第16回豊島健康診査センターMRI/CT症例検討会報告

第16回豊島健康診査センターMRI/CT症例検討会を平成28年6月10日に開催いたしました。ご多忙にも関わらず多数の先生方にご出席いただきお礼申し上げます。

追跡調査にもご協力いただき有意義な会が開催できたと大変感謝しております。

今回は4月より日本大学病院放射線科教授として赴任されました、天野康雄先生に前回は引き続き“臨床情報に近づくMRI(四肢)”と題して先生方よりご依頼いただきました中から興味ある症例をご呈示いただきました。

CTでは後腹膜脂肪肉腫の疑われた症例を提示させていただきました。

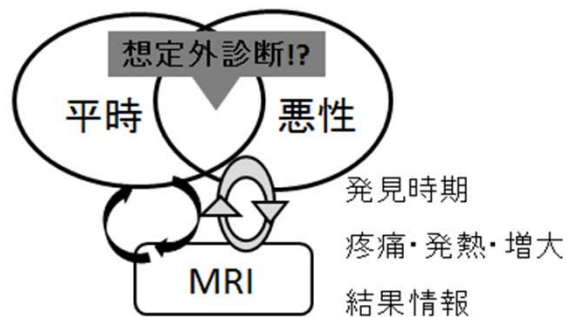
日本大学病院放射線科、天野康雄教授



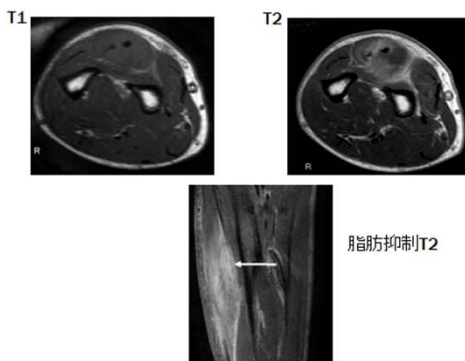
第16回 豊島健康診査センター MRI/CT症例検討会

臨床情報に近づくMRI (3 四肢)

Critical MRI Cases in Toshima (3)

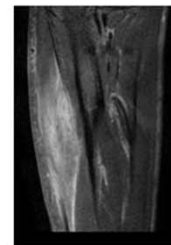


症例1 肘関節痛、骨透亮像

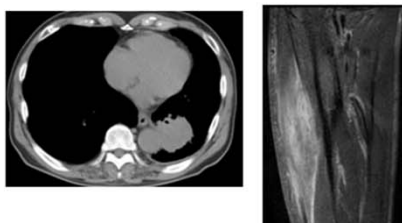


診断は？

- 多形肉腫 ○
- 転移性腫瘍
- 脂肪肉腫
- ???

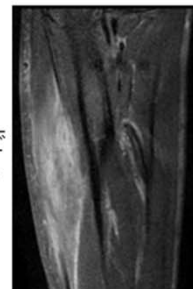


肺癌の上腕転移



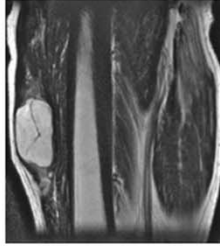
症例1 上腕転移

- 転移が少ない部位
- 原発巣や他の転移が未知
- ▶ 骨軟部腫瘍で悪性が少しでも疑われたら、全身検索が必須!

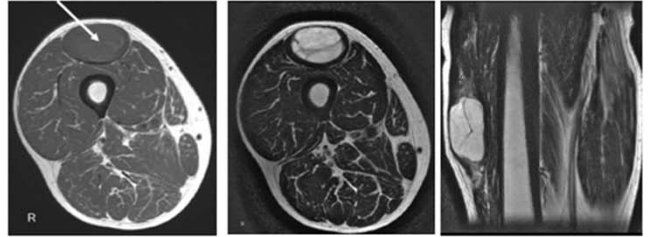


症例2

大腿部腫瘍



症例2



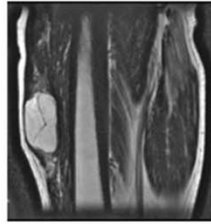
T1

T2

T2

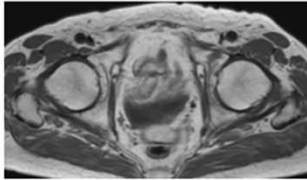
症例2 大腿脂肪肉腫(粘液型)

- 症状少ない
- 境界明瞭・辺縁スムーズ
- 大きい
- 粘液の存在と病変の局在

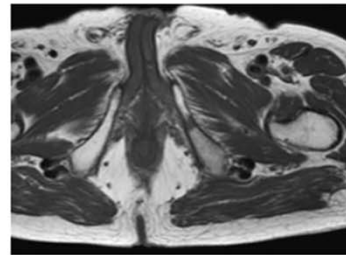


症例3

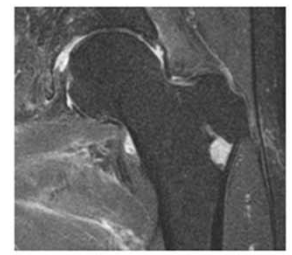
左股関節痛



股関節は正常だが---



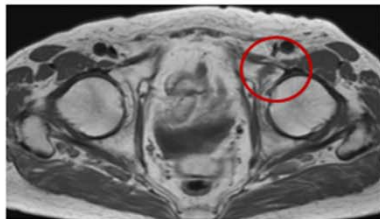
T1



脂肪抑制プロトン

症例3 骨盤骨折

- 股関節は正常
- 外傷歴不明
- 主訴は関連痛
- 同側の挫傷の確認
- 年齢

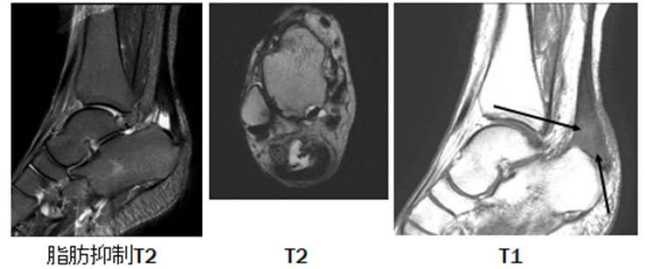


症例 4

踵部痛



症例 4



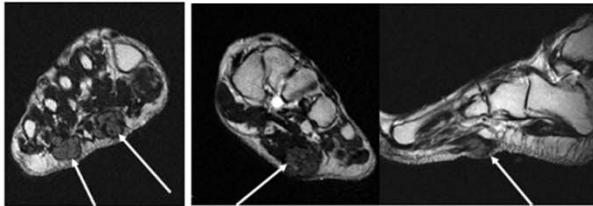
脂肪抑制T2

T2

T1

低信号である腱内部の挫傷にはエコー時間の短い画像 (T1強調像、プロトン密度強調像)が推奨

本日最後の症例 T2強調像



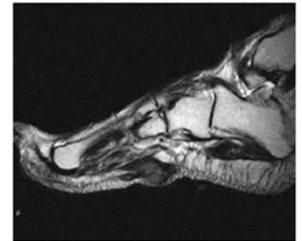
右足底

左足底

(矢状断面)

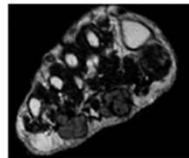
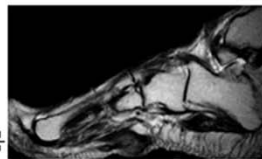
最後の症例の診断は？

- 血管腫(症)
- 神経線維腫症
- 悪性黒色腫
- 線維腫(症)

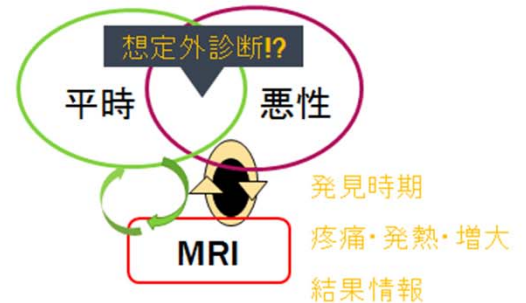


症例5 足底線維腫症

- 多発性がありうる
- 足底筋膜の近傍
- 比較的均一な低信号



MRIが臨床情報に近づくために



臨床情報に近づくMRI (四肢)

Critical MRI Cases in Toshima (3)

- 四肢領域のMRIでは鑑別が挙がりにくいことや予想外の所見が得られることが多い。
- MRI診断の妥当性を確認するためには、臨床情報、病理学的背景、単純写真などの伝統的な知識も考慮する必要がある。

- 上腕転移 とにかく全身検索
- 大腿脂肪肉腫(粘液型) 粘液の信号と局在
- 骨盤骨折 疼痛側の他の骨を診る
- アキレス腱断裂 エコー時間の短い撮像で腱内をよく観察
- 足底線維腫症 線維成分の信号と局在

CT症例報告

豊島健康診査センター 石原 聖久

症例報告

- 70代男性
- 主訴: 右単徑部痛、尿が出づらい、糖尿病
- 腹部骨盤CTのご依頼

CT所見

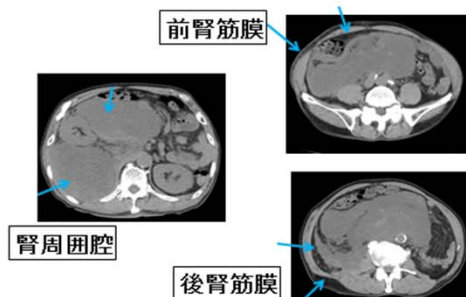
- 後腹膜腔優位に発達した腫瘤
- 吸収値は水よりやや高値で内部に大小嚢胞様構造が疑われる
- 腹膜偽粘液腫の疑い

脂肪肉腫

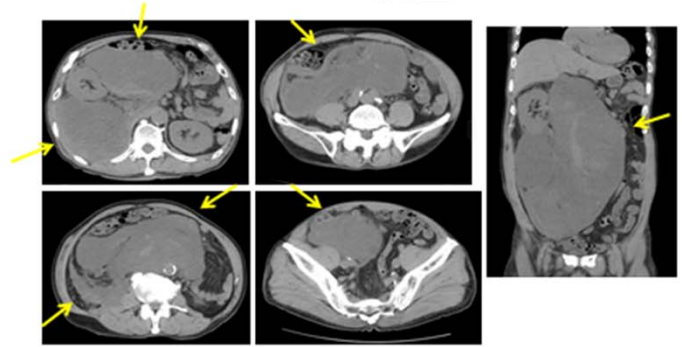
- 好発年齢**40-60**歳代、性差なし
- 好発部位は下肢、後腹膜腔、縦隔、鼠徑部
- 後腹膜腔の場合は、腎周囲組織からの発生が多い
- 後腹膜脂肪肉腫は解剖学的に臨床症状が出現しにくいいため、腹部腫瘤が触知されて初めて受診されたり、腹部膨満感などの圧迫症状を呈するぐらいに増大して初めて発見されることが多い。

(井出建弘、愛媛大学医学部泌尿器外科学講座、西日泌尿、76:132-136,2014)

CT検査

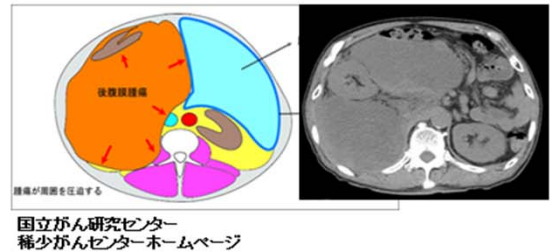


CT検査



2次医療機関よりの報告

- ① 造影CT、MRI、PET施行
- ② 巨大後腹膜腫瘍(おそらく脂肪肉腫)
- ③ PETでの**FDG**集積は低く、約**2ヶ月**の経過観察でも形態変化なし。
- ④ 右下部尿管に狭窄あり。
- ⑤ 手術は両腎摘出(術後透析)を含めた大血管処置を有する極めて侵襲度の高い手術



脂肪肉腫の組織学的分類

- **2013年WHO**分類
- ① 異型脂肪腫様腫瘍
- ② 脱分化型
- ③ 粘液型
- ④ 多形型
- 後腹膜粘液性腫瘍の大部分は脱分化脂肪肉腫と考えられている

引き続き豊島健康診査センターを、ご利用いただきますようお願いいたします。
次回、第17回MRI/CT症例検討会は11月を予定しておりますのでご参加いただければ幸いです。

臨床検査からのお知らせ

至急検体の結果報告	
電話受付	結果報告
9時～15時	当日
15時～19時	翌日 10時頃

※至急(当日結果報告)の場合は、必ず連絡してください。

検体集荷電話受付時間	
特定・長寿・福祉・肝炎・胃リスク他(検体)	
平日	9時～19時
土曜日	9時～16時30分

※子宮がん・大腸がん・健診用紙の回収	
平日	9時～19時
土曜日	9時～16時30分

※平日16時以降のご連絡につきましては翌日の回収をお願いしております。

※検体は、冷蔵庫又は冷暗所にて保存してください。